ＪＡＲＬ
香川クラブ報

Ｎｏ．４２７　　令和元年１０月１５日

製作技術講習会（９月８日）

ＪＡ５ＹＤＥ

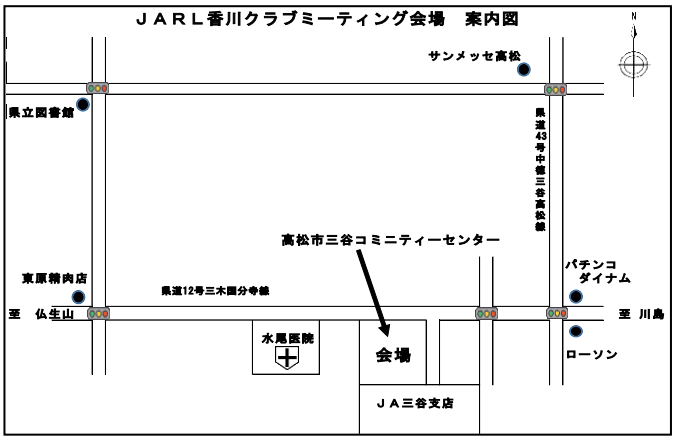
クラブミーティングのご案内

暑い夏も終わり朝晩は肌寒く感じられる季節になりました。１１月には高松市震災対策総合訓練等の行事があり、続いて香川マラソンコンテストや忘年会の行事等についても打合せを致したくクラブミーティングのご案内をさせて頂きます。

時期的に大変ご多忙とは思いますが、多数の御出席宜しくお願い申し上げます。

記

日　時：　１０月２５日（金）　　１９：００～２１：００頃
場　所：　三谷町　高松市三谷コミュニティセンター
議　題：　１．　香川県支部主催「ＡＲＤＦ競技大会」
　　２．　高松市主催「震災対策総合訓練」
　　３．　香川マラソンコンテスト
　　４．　忘年会
　　５．　その他



令和元年度高松市震災対策総合訓練

毎年市内各地域を巡りながら、発生確率が高くなった南海トラフを震源とする地震に備えて震災対策総合訓練が今年も計画されています。高松市の地域防災計画に基づき市民参加型の震災対策総合訓練が行われます。私達 JARL 香川クラブは高松市と協定も結ばれており、今年は 10 月 18 日に初めての会議があります。

記

日　　時　　令和元年１１月２４日（日）午前９時～正午
場　　所　　高松市立鬼無小学校
訓練想定　　令和元年１１月２４日（日）　午前９時香川県全域に強い地震が発生し、高松市内で震度６弱を記録した。このため多数の家屋の倒壊、火災の発生、ため池の決壊、道路等の損壊、交通機関、通信施設等に甚大な被害が生じたほか、市内沿岸部に大津波警報が発令された。
参加団体　　約 30 機関　約１０００人の予定

※ 当日はアマチュア無線通信による災害情報伝達を行います。
参加出来る方は是非訓練に参加されますようお願い致します。

二年越しの第 30 回全日本 ARDF 競技記念大会

JH5LYW

2019 全日本 ARDF 競技大会(第 30 回記念大会)が、10 月 5 日(土)[144MHz クラシック部門 in 札幌]･6 日(日)[3.5MHz スプリント部門 in 千歳]にて 2 年越しで開催されました。

昨年は地震と台風、今年は競技予定地域に熊の出現で競技場変更となる中、スタッフの経験、知識不足や人材不足など、いろいろな困難を乗り越えて開催にこぎつけられた努力は称賛に値するものでした。

さて、何時も一緒している JA5UVT 詫間ご夫妻と私の家内と共に、10 月 4 日 9 時 45 分高松発羽田経由新千歳行きを予定していたのですが、我々が乗るべき飛行機が途中、雷にあったとかで点検整備。やっと飛び立ったのは 11 時 20 分。羽田ではまた約 30 分遅れで、北海道の地に足を降したのは約 2 時間半遅れとなっていました。思わぬアクシデントは今大会の成績を予感させるような出来事だったのかも知れません。

ホテルでは九州の各局と一緒になり、お互いの今大会での健闘を約束しました。

5 日(土)　小雨

受付を済ませ、バスに揺られ高速道路を利用して約 1 時間。「ここは何処？私は何を」の世界に感じるほどの見るからに急峻な山の中へ。

今日のスタートは第 2 組で、獲得すべき TX は第 2･3･5TX の 3 個。スタート時間の合図とともに走り探索開始地点を通過するも、全く TX 信号が聞こえてこない。「もしかしたら受信機の故障では？」と思ったが、一緒にスタートした強豪 OM も度々首を捻りながら受信機を頭上でいろんな方向に回している。

取りあえず、高いところまで移動すべくただひたすら駆け上がり、まるで山岳マラソン。途中、第 1TX と第 2TX が辛うじて聞こえ出したが、気分は「とにかく高いところで受信してから」と思い無視したのが間違いのもとで後になって後悔する羽目に。

全 TX の方向を確認して、まず第 3TX を目指したつもりが手前の道を入ってしまっていた。引き返すのも癪だと、一番遠い第 5TX に向かったのだが、これがまたまた後で後悔することに。やっと第 5TX にたどり着いたときは 32 分が経過していた。まぁ、後の TX の位置は大体分かっているからと、甘い考えで第 3TX へ向かったのだが標高差が激しい急峻な山谷。「この辺のはず」とたどり着いたところで、信号が弱い。「こんなはずは？」と山道を走り回っている間に、自分のいる位置が地図上で分からなくなりパニック状態に。

冷静になれば何とかなるのに、この競技の怖いところ。右往左往して 40 分もかかって、やっと見つけたのだが、相変わらず自分の位置は不明だし第 2TX は全く聞こえない。聞こえないということは、とんでもない所にいるか TX の故障ということもあるし、時間もあまりないので諦めれば良いものを、「あの高いところまで」とスケベ心が後悔の種に。

行けども行けども脇道はないし、さりとて引き返すという選択もできない自分を情けなくなりながら、残り 20 分となったのでやっと諦めてゴールを目指すことにした。ところが、競技中にも分かっていたはずなのに山間を行ったり来たり。ジグザグの道が少しもゴールに近づかない。とにかく走ったがタイムアウト 5 分前になって、甘く見た現実にやっと目が覚め、後は歩いてゴール。全日本大会での失格は初めてで自分が情けなくなった。

何処かで一つでも思い止まっていればと反省しきり。いつもそう思いながら「止まる勇気、引き返す勇気」があれば、もっと安定した成績が残せるし、こんな結果にはならないのにと反省しきりなのに、何時も同じことを繰り返す。

夜は、第 30 回大会記念祝賀会が催され、ジンギスカン料理と飲み放題。全国の参加選手と親交を温めた。

6 日(日)　晴れ

昨日の成績が貼り出されており、何時も上位にいるほとんどのOM達を含め、参加選手の半数以上がタイムオーバーの失格。そのうち 20 名以上がスタッフ管理車両に強制収容され、中には 3 時間以上山中をさ迷った選手もいたという過酷な大会だった。

今日のスプリント競技のスタートは 14 組で最後から 2 番目（昨日の逆)。獲得すべきＴＸは第 1 ループ(1･2･3･5TX)、スペクテータ、第 2 ループ(F1･F2･F4･F5TX)の 9 個。やっと順番が来てスタート。第 2TX を目指したのだが、ふと見ると第 F4TX 発見。今日は第 1 ループと第 2 ループが混在していることに気が付いた。

第 2･第 1･第 3 とゲットしたが第 5TX が弱い、スペクテータまで行って探索しようと走っているとだんだん絞られてきてゲット。第 2 ループの探索をしながらスペクテータを通過し第 F2･F1･F5TX をゲット。後はヘッドホンを外して、全速力で第 F4TX からゴールへ向かった。

所用タイムは 26 分 16 秒。「M60 ｸﾗｽ第 1 位」に何とか昨日の大チョンボを少しだけ和らげることができた。　閉会式も和やかに終わり、それぞれ来季の再会と健康を約束して別れを惜みながら会場を後にして、さぁ、いよいよ第二の目的である観光旅行に出発。我々と何時も一緒する北宇和の JH5FUL 松浦 OM の 5 人で、まずは宿泊予定の留萌へ。

さすが北海道。道が良くて空いていたので予定より 1 時間近く早いチェックイン。近くの食べ物屋を探したが、「日曜日はどこも開いていませんよ」とつれない言葉が。やっと開いていた居酒屋を探し当てたが、北海道の港町ならではの食事には程遠く、飲んで食べて、その夜はぐっすり眠ることができた。

7 日(月)　晴れ

千望台から留萌市内や遠くオロロン島を眺め、オロロンラインを北に向かってスタート。道の駅「おびら鰊番屋」で休憩したりしながら「利尻礼文サロベツ国立公園」の中を通り「サロベツ原生花園」をゆっくり散策した。

ノシャップ岬では、利尻富士や礼文島、そして間宮海峡に浮かぶ樺太を眺めながら、

終戦になった後でのソ連軍侵攻の悲劇が目に浮かぶような錯覚を覚えた。

稚内公園散策では、夕焼けと礼文島に沈む夕日を堪能し、「稚内港北防波堤ドーム」横にあるホテルで温泉に浸かり、豪華なご馳走に舌鼓。

8 日(火)　曇りのち雨

今旅行の一番の目的地「日本最北端の地　宗谷岬」へ。ダ・カーポの「宗谷岬」を口ずさみながら「流氷館」や「宗谷岬灯台」を散策し、「宗谷丘陵」をドライブして平和の幸せと大切さを大いに感じたものである。

「エサヌカ線」では牧草畑の中を地平線に向かって走る直線道路(17km)は圧巻だった。「白鳥の湖クッチャロ湖」「美深チョウザメ館」を経て「名寄市北国博物館」に。SL 排雪列車キマロキやアイヌの人々の生活の展示を見学。「道立サンビラパーク」では、あたり一面に咲いている向日葵畑に女性たちは大喜び。

移動中は小雨が降っていても目的地に着くと嘘のように雨が止み、快適な旅を楽しめた。

一路、最後の宿泊地である南幌に向かって走り出したが、その頃から雨脚が強くなり前がほとんど見えないほどだった。予定時刻を 30 分ほどオーバーしたが、無事たどり着き豪勢な食事と温泉を堪能した。

9 日(水)　雨のち曇り

いよいよ最終日。「サケのふるさと千歳水族館」を訪ね楽しんだ。千歳川を見るコーナーでは水面から川底まで川の中の様子を見渡すことができ、サケを始めいろいろな川魚がたくさん泳いでおり、さながら潜水艦にでも乗った気分だった。水族館の外にある「インディアン水車橋」からはインディアン水車を実際に使ってサケを捕獲しているところを見学することができた。眼下の川はたくさんのサケが遡上していて、「何とか捕れないかなぁ」などと大はしゃぎ。

想い出一杯詰まった 2 年続きの北海道旅行。

新千歳空港からトラブルもなく定刻に高松空港について今回の旅は無事終了することができた。

比較的お天気にも恵まれ、体調面のトラブルもなく大いに楽しめた。

来年の全日本大会開催場所の発表はなかったが、それまでに小銭を貯めて、どこであれ競技と旅に元気に参加したいものである。

一緒に楽しみたければこの指と～まれ！

製作技術講習会に参加しました

JG5JXW

受講者としての参加は今回が初めてでした。CW インベーダーは以前から欲しいと思っていながら、販売しているのは個人の方だったので、手続きが面倒に感じて二の足を踏んでおりました。

県支部の新年会の時に森國支部長に「こんなのはどうですか？」と提案したところ採用していただけましたので、知り合いも誘って参加いたしました。

バックライトが暗い問題があるのを知っていましたが、今回の CW インベーダーは「Ver2」になっており、バックライト付きの画面に変更され見やすくなっていた上アクリルケースまで手配していただいていて至れり尽くせりでした。

組み立ての説明書も非常にわかりやすく書かれており、他の方の製作状況を見たり手伝ったりしながらでも１時間程度で完成しました。参加各局も午前中にはだいたい完成していて、遅い人でも午後の早い時間には完成し、全員無事に完成しました。

その後は少し余裕のできた時間を利用して、森國支部長より FT-8 についての説明会が開かれました。森國支部長や森田本部長は FT-8 を熱心にされているそうで、DXCC が面白いように集まるそうです。

ものを作るだけの製作技術講習会よりも、たまにはこのような新しい情報や技術的な講義のような会があってもいいと思いました。

ちなみに私自身、FT-8 はできるようにしていて、HF の各バンドで１局ずつくらいは交信した実績はあります。しかし、まだまだ初心者レベルですので CW でトンツートンツーやる方が今は楽しいです。 皆さんはいかがでしょうか？ チャレンジしてみませんか？

香川県支部ＡＲＤＦ競技大会

このＡＲＤＦ競技大会は平成２８年度まで愛媛県と交代で北四国ＡＲＤＦ競技大会として開催してきましたが、都合により香川県でその他の ARDF 競技大会が無い年は、香川県支部が単独で行う事となりました。その概要をお知らせ致します。

記

○ 日　時　令和元年１１月１０日（日）　09：00～
○ 場　所　東かがわ市周辺

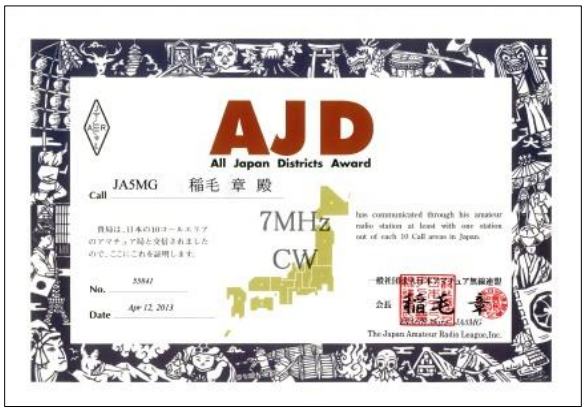
※個々に協力の依頼が来ると思いますがよろしくお願いいたします。

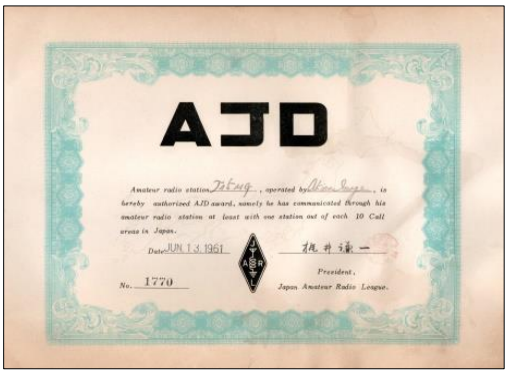
私の自慢のアワード

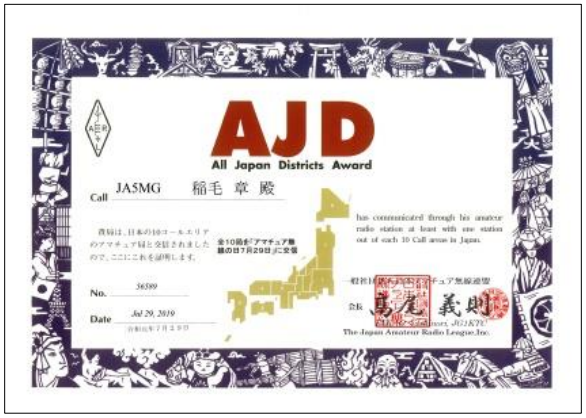
JA5MG　稲毛　章

開局以来アワードを沢山収集いたしましたが、その中で特にＪＡＲＬのアワードは歴代会長５名から取得しました。中でも私が私宛に発行したアワードは役目柄取得出来た特別なもので私の誕生日４月１２日発行になっております。高尾会長からのＡＪＤは「アマチュア無線の日７月２９日」の特記で令和元年７月２９日発行です。発行者もＪＡＲＬから、社団法人ＪＡＲＬそして一般社団法人ＪＡＲＬ発行と変わりました。又時代も昭和、平成、令和と移りました。

アワード取得数は国内が５４１枚、外国が３４０枚です。今後もアワードハントを唯一の楽しみにしてアマチュアライフを過ごします。







クラブ報の原稿依頼及び送付先

身近な出来事、旅行記、自身のハムライフ、掲載要望などのジャンルは問いません。
原稿サイズ：B5サイズ　出来ればWordで作成しﾒｰﾙ、電子ﾒｰﾙが無い場合はfaxか郵送。
送　付　先：E-mail
　　Fax
郵　送　先：〒761-

★★★　新入会員募集中　★★★

ＪＡＲＬ香川クラブでは新会員を募集しています。
昨年はクラブ結成７０年(1948 年 10 月結成)になりました。
これからも更なる飛躍と新たな歴史を築いていかなければなりません。
クラブに新風を吹き込むと同時に、活性化のためにも新入会員の募集にご協力ください。

＊お知らせ

ＪＡＲＬ香川クラブでは、会員の実態を把握するため、免許状記載事項に変更があったり、新たに無線局の免許状を取得された方は、その都度、お知らせくださいますようお願いします。

将来のインターネットサービスに対応して、現在「電子メールアドレス」を取得している方は、差し支えなければ連絡下さい。

ＪＡＲＬ香川クラブ報

発行責任者	ＪＨ５ＬＹＷ	三好　伸幸
編集者	ＪＡ５ＴＦＪ	横田　寿夫
	ＪＡ５ＴＯＰ	平賀　正明
	ＪＩ５ＶＵＺ	市原　義博
	ＪＩ５ＸＴＰ	坂内　信洋
	ＪＧ５ＪＸＷ	坂井　進史